

令和5年度 静岡市立清水こども園 グランドデザイン

経営目標

わくわくいっぱい
笑顔いっぱい
信頼されるこども園

園教育・保育目標

意欲的に取り組む子

《静岡市立こども園が目指す子どもの姿》

- ・自己肯定感を高める子
- ・夢中になって遊ぶ子
- ・明るく伸び伸び生活する子
- ・自分らしく表現する子
- ・楽しんで関わる子

重点目標

“やってみたい！”がいっぱい



研修テーマ

一人一人の“や
ってみたい！”
を実現するための
環境の工夫



【心も体も元気いっぱい】

明るく元気な子

- ・健康な心と体づくり
- ・明るい挨拶をする
- ・出来事や出会いに感動する
- ・運動あそびチャレンジ
- ・基本的生活習慣の定着

【もっとやってみよう】

自分から挑戦する子

- ・興味・関心・意欲を持って自己発揮をする
- ・主体的に夢中になって遊ぶ
- ・自分なりに工夫したり試したり納得いくまで探求する
- ・友達と協力して遊びを広げる

【伝え合おう】

思いを表現する子

友達の思いに気づく子

- ・安心して自分の思いを表現する
- ・友達の思いに耳を傾ける
- ・友達と思いを伝え合う
- ・ありがとうの気持ちを伝える

《学年目標》

0 歳児

保育者との応答的なかわりを通じて安心して過ごす

1 歳児

保育者との信頼関係のもと、人や物に興味を持ち関わろうとする

2 歳児

安心して自分の思いや欲求を出し、保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ

3 歳児

自分の好きな遊びを見つけ、思いを出しながら友達と一緒に遊ぶ

4 歳児

自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づきながら友達との関わりを深める

5 歳児

思いやアイデアを伝え合い目的をもって生活や遊びを進める



職員 同僚性を発揮する “チーム清水”

安心安全な園づくり

- ・安心安全な保育環境の確保
- ・安全教育・防災教育の推進
- ・事故、ケガの事例検証
- ・避難訓練、津波訓練、不審者訓練
- ・交通安全指導
- ・交通指導員による交通教室
- ・食の安全 アレルギー児への対応
- ・感染拡大防止対策の継続実施

◎連携…お互いを認め合い支え合う

◎清水スタイルの構築 (組織的な園内研修の実施)

- ・限られた時間の中で学び合い伝え合い語り合う
- ・研修部の連携・サポート
- ・15分ミーティングの共有
- ・焦点化した意見交換
- ・PDCA 確立 実践→考察→改善へ

◎主体的に学び合う…教育・保育の質の向上
(わくわく実践研修・シュガーの会で共有)

◎園児一人一人の思いに寄り添って関わる

・個の遊びの充実を支える

◎わくわくする環境づくり

- ・自ら遊びを選択し、遊び始めたいくなる環境
- ・遊びが広がり、「もっと」につながる環境の再考
- ・友達とつながる環境

家庭とのつながり

- ・信頼関係を基に温かい関係作り
- ・子どもの姿や育ちを伝え合う(個人面談等)
- ・積極的な情報発信・活動掲示の工夫
ドキュメンテーションの活用
教育・保育の価値を可視化
- ・インクルーシブ教育・保育の推進
支援を必要とする子の対応
特別支援教育活動(ミッキー活動)
支援担当者会議(ミッキー会議)
- ・専門機関と連携し、子育て支援をする
- ・保護者会との協力

地域とのつながり

- ・地域の未就園児家庭への子育て支援
さくらサロン 育児相談 園庭開放
- ・商店街や地域の方と交流
次郎長通りに笹飾り 地域版園だより発行
- ・地域行事への参加
敬老会 コミュニティまつり
- ・近隣園との交流
聖母保育園と合同避難訓練
川原こども園年長児と公園等で遊ぶ
- ・地域資源を活かし本物に触れる
海・神社・商店街での体験

学校とのつながり

- ・育ちと学びを共有、円滑な接続へ
アプローチカリキュラムの作成・実践
小中一貫教育推進委員会参加
- ・小学校との交流
公開授業・公開保育への参加・意見交換
学校見学等で就学への期待
総合学習の受け入れ
清水岡小学校への避難訓練
- ・中学校との交流
職場体験・家庭科授業受け入れ
- ・保育実習の受け入れ
短大・大学・看護学生